

－ 記者発表資料 －

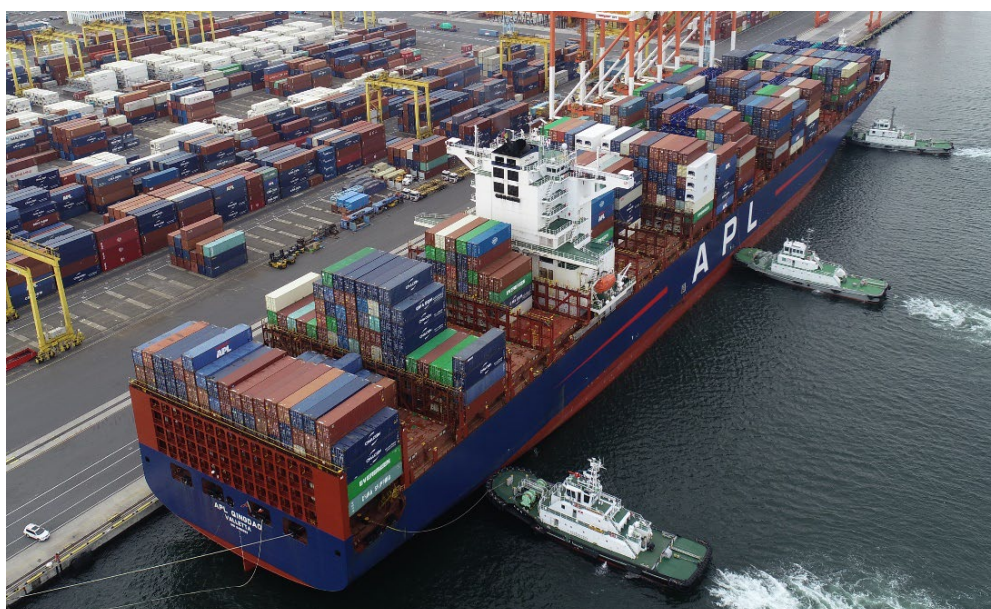
横浜港本牧ふ頭に国内唯一の北米東岸航路が新たに就航しました！

令和5年3月21日（火）に、CMA CGM社（フランス）が運航する北米東岸航路の第1船「APL ^{チンタオ}Qingdao」（全長：約354m、船幅：約46m、最大積載数：10,106TEU（注））が横浜港本牧ふ頭D4コンテナターミナルに初入港しました。

今回の北米東岸航路の就航は、約2年ぶりの日本発北米東岸向け直航サービスとなります。横浜港では、国際コンテナ戦略港湾の競争力強化に向けて、基幹航路の維持・拡大を積極的に進めており、今回の北米東岸向けの輸出航路の復活が、アジアにおける横浜港のハブ機能の強化と我が国の荷主の円滑な物流の確保につながるものと期待しています。

（注）TEU：20フィートで換算したコンテナ個数

| 発表記者クラブ | | |
|--|--|------------------|
| 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、 横浜市政記者会、物流専門紙 | | |
| 問合せ先 | | |
| ○国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 | | |
| 港湾高度利用調整官 田尾 雄喜（たお ゆうき） | | TEL：045-211-7437 |
| ○横浜市港湾局 港湾物流部物流運営課 | | |
| 担当課長 山本 智（やまもと さとる） | | TEL：045-671-2919 |
| ○横浜川崎国際港湾株式会社 経営企画部 | | |
| 経営企画課長 鈴木 康弘（すずき やすひろ） | | TEL：045-680-6636 |



初入港写真

(参考1) 本船詳細

本 船 名：APL Q i n g d a o
船 籍：マルタ
総 ト ン 数：113,735G/T
最大コンテナ積載数：10,106TEU
全 長：約354m
船 幅：約46m

(参考2) 北米東岸航路「CBX」寄港地

シンガポール - レムチャバン - ハイフォン - 塩田 - 寧波 - 上海 - 釜山 - **横浜** -
(パナマ運河) - ノーフォーク - サバンナ - チャールストン - マイアミ - (スエズ運河)